

社会保障法 I・II

他者と連帯することの意味とは（分断社会における包摂の方法を学ぶ）

社会保障法では年金や医療などの社会保険制度（I）、あるいは、生活保護や保育所などの社会福祉制度（II）の根拠となる法律の内容、あるいは、法制度の運用において生じる法的課題について裁判例等を通じて理解を深めていきます。その際、私人、行政機関、サービス提供事業者（保育所等）といった複数の当事者が関係する複雑な法律関係に基づき、民法や憲法、行政法等で学んだ知識を応用的に活用していくことが求められます。

社会保険については少子高齢化に伴って問題が多いと感じておりましたが、詳しくは制度について知らなかったもので、私たちに関わる制度について少しでも知ることができてよかったです。

現実に役に立つ内容だったので、難しかったですけど、学べて良かったと思いました。